

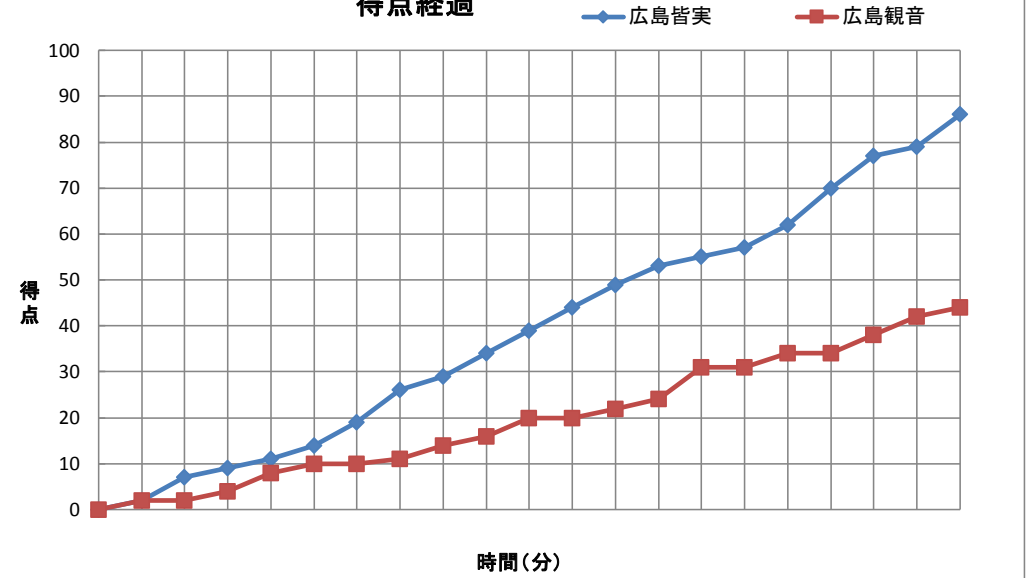


令和3年度広島県高等学校秋季バスケットボール大会
第74回全国高等学校バスケットボール選手権大会 広島県予選

個人トータル表

女子						令和3年10月23日 11:00 開始															
決勝						広島サンプラザ 0															
◎ 広島皆実		86	<table border="1"> <tr><td>14</td><td>1st</td><td>10</td></tr> <tr><td>25</td><td>2nd</td><td>10</td></tr> <tr><td>18</td><td>3rd</td><td>11</td></tr> <tr><td>29</td><td>4th</td><td>13</td></tr> </table>			14	1st	10	25	2nd	10	18	3rd	11	29	4th	13	44	広島観音		
14	1st	10																			
25	2nd	10																			
18	3rd	11																			
29	4th	13																			
(広島県)						(広島県)															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則								
* 4	羽原 希美	7	1	2	0	0	* 4	山崎 いづみ	3	0	1	1	3								
5	山本 朱莉	3	1	0	0	1	* 5	藤井 明日菜	12	1	4	1	1								
6	岩崎 茉美	0	0	0	0	0	6	江刺 茉凜	8	0	2	4	2								
7	松前 結奈	2	0	1	0	0	7	大亀 あおい	-	-	-	-	-								
8	荒地 葵	0	0	0	0	0	* 8	小林 愛花	0	0	0	0	2								
* 9	田邊 観愛	8	1	2	1	2	9	高石 美央	4	0	2	0	1								
10	林 陽菜実	0	0	0	0	2	10	石原 綺美香	-	-	-	-	-								
* 11	土屋 さくら	3	1	0	0	0	11	吉永 百奈	-	-	-	-	-								
* 12	三次 真歩	18	0	8	2	3	12	杉岡 侑来	-	-	-	-	-								
13	田所 彩実彩	2	0	1	0	0	13	道町 里紅	-	-	-	-	-								
* 14	大上 粹奈	10	0	5	0	2	14	沖 花 純	0	0	0	0	1								
15	藤田 涼音	3	1	0	0	1	* 15	山本 莉香	6	0	3	0	1								
16	小西 史夏	0	0	0	0	0	16	山根 宇絵	-	-	-	-	-								
17	西名 真渉	0	0	0	0	0	* 17	安田 結萌	8	0	4	0	3								
18	平田 彩光	30	8	2	2	3	18	澤崎 莉実	3	1	0	0	1								
コーチ	村井幸太郎					0	コーチ	小松 広道					0								
Aコーチ	村上幸代						Aコーチ	田中満子													
合計		86	13	21	5	14	合計		44	2	16	6	15								
主審: 皆川 義紀																					
副審: 中島 淳																					
副審: 森原 隆																					

得点経過



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:
TeamB	3:56	12:13	26:45	31:22	:	:

〔戦評〕
 スタート 広島皆実#4,9,11,12,14 広島観音#4,5,8,15,17
 1ピリオド 広島皆実オールコートマンツーマン、広島観音はハーフコートマンツーマンから始まり、序盤は落ち着いたゲーム展開が続く。広島皆実には#4の巧みなアシストやドライブインからの2P、サイズのある#14のリバウンドからのシュートで得点を重ねる。広島観音は#15の鋭いドライブインやスティールからの速攻で得点するもアウトサイドシュートの精度を欠き、得点が伸びない時間が続く。すかさず前半1回目のタイムアウトを請求し、2-1-2のハーフコートゾーンディフェンスに切り替え、相手のターンオーバーを誘発。流れを引き寄せる。広島皆実14対広島観音10で1ピリオドを終える。
 2ピリオド 広島観音はスクリーンを多用したチームオフェンスでアウトサイドシュートを狙うも得点につながらず、12点差となり、前半2回目のタイムアウトを請求する。#5のオールラウンドなプレーで得点する。相手のポストプレーにもチームディフェンスで対応しインサイドの得点を許さない。一方広島皆実には#12の力強いドライブインやジャンプシュート、途中交代の#18をはじめとしたアウトサイドプレーヤーの精度の高い3Pで一気に相手を突き放す。広島皆実39対広島観音20で前半終了。
 3ピリオド 広島皆実には長身選手によるインサイドプレーと高確率な3Pを軸としたアウトサイドプレーでバランスよく得点を重ねる。広島観音も#4の1対1や#5の外と中のプレーで応戦する。また、なんとか流れを掴もうと選手交代やタイムアウトを積極的にとるも得点が伸びず、広島皆実57対広島観音31で3ピリオドを終える。
 4ピリオド 広島観音は#18の3P、#17のアウトサイドシュート、#6のバスケットカウントで食らいつく。しかし広島皆実の勢いは止まらず、#18の連続3P、#12の速攻からの巧みなゴールしたのプレーで得点が止まらない。最終的に広島皆実86対広島観音44で試合終了。インサイドプレーと最後まで高確率で3Pを決めるなどバランスよく得点を続ける広島皆実に対して、広島観音もオールコートでボールを追い続けバザーがなる最後まで必死に走り切った。

戦評: 手島祥平 記録: